

No.	推薦団体	氏名	年齢	性別	市町村名	功績等
1	福島県野球連盟	はなざわ こういち 花澤 興一	68	男	いわき市	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしま国体時には高校野球(硬式)の大会副委員長を務め、大会を成功に導いた。 ・県野球連盟の審判員を50余年の長きにわたり務め、全軟連、高校野球、社会人野球など各種大会への出場を重ねた後に県連盟の役員となり後輩の指導や育成にも意を注ぎ県野球界の発展に貢献された。 <p>○福島県野球連盟 会長2年、副会長13年</p>
2	福島県ソフトテニス連盟	しだ みつお 志田 光夫	66	男	福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・県連盟副会長として長年にわたりその職責を果たし、組織拡充に寄与した。 ・福島市で開催された東日本ソフトテニス選手権大会や東北総合大会を成功に導いた。 <p>○福島県ソフトテニス連盟 副会長10年</p>
3	福島県バスケットボール協会	いしだ まこと 石田 洵	67	男	福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和48年に県バスケットボール協会の理事に就任して以来、県協会の要職にあたり、常に役職に応じた立場で会長を補佐し、県協会の運営に貢献した。また、現在は会長として県協会の運営をリードしている。 ・ふくしま国体時には県協会副理事長及び事務局長として大会を成功に導いた。 ・ミニバスケットボール連盟、クラブ連盟、家庭婦人連盟、中学生連盟の設立並びにその自立に向けて力を尽くした。 ・県協会創立60周年にあたり協会誌「飛翔」を発刊した。 <p>○福島県バスケットボール協会 会長2年・副会長2年・理事長6年・副理事長8年</p>
4	福島県バドミントン協会	ながい しょういち 永井 祥一	67	男	いわき市	<ul style="list-style-type: none"> ・長年にわたり福島県バドミントン協会の副会長の職を務め競技力向上や競技人口の拡大など福島県バドミントン協会発展に尽力した。 ・福島県からオリンピック選手の育成を目指しジュニアの育成に取り組み、競技力向上に大きく寄与している。 <p>○福島県バドミントン協会 副会長30年</p>
5	福島県スケート連盟	さとう えいじゅ 佐藤 英壽	60	男	福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしま国体のリハーサル大会として開催された第43回全国高等学校スケート競技選手権大会の事務総括責任者として大会の円滑な執行に尽力された。 ・平成7年に開催されたふくしま国体スケート競技会の会場地県の事務総括責任者として円滑な大会運営とスケート競技の総監督として男女総合11位の成績を修めるなど粉骨砕身手腕を発揮され国体成功に貢献された。 ・福島県スケート連盟の副会長・理事長として長年にわたり選手の育成強化、青少年の健全育成、さらには連盟の健全育成に粉骨砕身努力されている。 <p>○福島県スケート連盟 副会長4年・理事長9年 ○(財)福島県体育協会 監事4年</p>
6	福島県ソフトボール協会	くろだ ひろくに 黒田 宏邦	65	男	会津美里町	<ul style="list-style-type: none"> ・ふくしま国体の際にはソフトボール競技少年女子部の競技副委員長として大会運営に尽力し、大会を成功に導いた。 ・日本スポーツマスターズ2004福島大会のソフトボール男子会場の競技委員長として大会運営に尽力し、大会を成功に導いた。 ・平成14年に開催した日本女子一部リーグの本県開催に尽力し、会津地区はもとより福島県におけるソフトボールの技術向上と競技の普及・発展に貢献した。 <p>○福島県ソフトボール協会 副理事長20年</p>
7	福島県山岳連盟	おがた かずゆき 尾形 一幸	62	男	福島市	<ul style="list-style-type: none"> ・スポーツ指導員並びに福島県山岳連盟役員として長年選手と監督の育成と競技力向上に尽力し、平成7年のふくしま国体山岳競技では総務委員として山岳競技の完全優勝に貢献した。 ・長年にわたる山岳活動を通して自然保護と登山の振興に貢献すると共に福島県山岳連盟役員を長年務め、地域山岳会の指導育成に努めるとともに県総合体育大会山岳競技の充実と東北総合体育大会、国体における選手・監督の育成、競技力の向上を図り天皇杯上位入賞に大きく貢献してきた。 <p>○福島県山岳連盟 会長4年・副会長2年・理事長5年・副理事長3年</p>
8	福島県ボウリング連盟	いとう ひろし 伊藤 寛	64	男	郡山市	<ul style="list-style-type: none"> ・第48回国体から現在に至るまで少年の監督として指導にあたり9回の入賞を数える。また、第58回の静岡国体では少年女子団体1位の偉業を達成した。 ・福島国体を見据えてジュニアの強化に尽力し、全日本の代表選手を育成するなど福島県のボウリング界に多大な貢献をしている。 <p>○福島県ボウリング連盟 副理事長15年</p>

No.	推薦団体	氏名	年齢	性別	市町村名	功績等
9	福島県 パワーリフティング協会	おおの つぎお 大野 次男	66	男	福島市	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年の北日本選手権大会(東北・北海道大会)の本県開催に尽力し、大会を成功に導いた。 ふくしま国体へ向けて選手の競技力向上と筋力強化の指導を行い、国体優勝に大きな貢献をし、現在も福島県国体選手への指導を行っている。 パワーリフティング競技の普及に励みその功績は多大である。 <p>○福島県パワーリフティング協会 会長14年・理事長12年</p>
10	福島県スポーツ少年団	さとう まさし 佐藤 昌志	80	男	福島市	<ul style="list-style-type: none"> 福島県スポーツ少年団本部長として団員の加入促進や指導者の資格取得に努力し、組織の拡充に大きく貢献した。現在全国の中で団数6位、団員数5位、指導者数4位を誇る。 青少年にスポーツを振興し、心身の健全な育成を目指すスポーツ少年団の目的を達成すべく指導者の資質向上や保護者の積極的な参加を働きかける事業を計画的に実践した。 全国に誇れる福島県スポーツ少年団への貢献はもちろん、福島県体育協会においても理事としての立場からスポーツ少年団のみならず全県的な青少年の健全育成やスポーツの普及・振興に建設的な意見を述べるなど底辺拡充に貢献した。 <p>○福島県体育協会 理事12年 ○福島県スポーツ少年団 本部長 13年</p>
11	福島県 オリエンテーリング協会	たかいはし こうじゅ 高橋 弘壽	74	男	二本松市	<ul style="list-style-type: none"> 学校行事や地域総合スポーツクラブにおけるオリエンテーリングの取り組み等、多くの実績を残しており、オリエンテーリングの普及活動に大きく貢献したほか数多くの指導員の育成に当たるなど技術力の向上にも努めた。 県オリエンテーリング協会発足時より役員として在職し、組織の充実発展に大きく貢献した。 数多くの全国規模大会を誘致し、大会運営に尽力し大会を成功に導いた。 <p>○福島県オリエンテーリング協会 会長12年</p>
12	福島県 スポーツチャンバラ協会	ほった みつる 堀田 満	61	男	伊達市	<ul style="list-style-type: none"> 平成6年4月に福島県スポーツチャンバラ協会を設立して以来、県協会長として尽力し、各地区協会の発展や後人の育成などに努め、県協会の組織の充実発展に大きく貢献した。 <p>○福島県スポーツチャンバラ協会 会長16年</p>
13	県北地域連合	まつやま みつお 松山 光男	68	男	二本松市	<ul style="list-style-type: none"> 合併前の二本松市体育協会において副理事長、理事長、副会長を歴任し、また、安達地方体育協会の理事長として常にリーダーシップを発揮し、後進の育成に努めた。 市民の健康増進など市及び安達地方体育協会の活性化及び発展に多くの功績を残した。 <p>○二本松市体育協会 副会長4年・理事長4年・副理事長8年</p>
14	県中地域連合	かざま ただし 笠間 忠	77	男	三春町	<ul style="list-style-type: none"> 平成3年から16年間にわたり三春町体育協会会長として地域の活性化及び発展に尽力した。 さくら湖マラソン大会実行委員会会長やふくしま駅伝大会三春町選手団団長を務めるなど地域社会の振興に多に貢献している。 <p>○三春町体育協会 会長16年</p>